



原垣内利則さん

昔ながらの農業を体験させて14年!!

安登西在住の原垣内利則さん（84才）は、安登小学校のゲストティーチャーとして、5年生に米作りの体験学習をさせています。

きっかけは14年前、当時の教頭先生から相談を受け100㎡の田を借用、他の民生委員や地域の仲間と共に、粉巻き・田植え・稲刈り・脱穀・餅つき等で、昭和の米つくりを体験させ、泥田の感触・鎌での刈取り・はぜ掛け等を教えています。農業は土作りから始まり、夏場の草取りや水の管理など、年間を通じた作業となり大変ですが、子供達の笑顔や手作りの感謝状・手紙は、『私のだいじな宝物』です。これまでやって来れたのは仲間の協力があつたからと、常に感謝されています。

この他、安登保育所でも、サンタクロースになったり、とんど焼きを行うなどの活動をされています。これからも「元気な内は続けたい、後継者もほしい。」とのこと。



高齢者が頑張る環境浄化!!

「安浦・自然と環境を育む会」は平成13年より発足し、自然の微生物を活用して町内の地区ごとに、安心・安全な循環型の社会をめざし活動をされています。

毎月2回EM活性液をつくりペットボトル（500ml）2本を会員300名以上に配布しています。会員は家庭において清掃、野菜・米づくり、化粧品などに使用し、月1回は町内の河川13ヶ所にEM発酵液を流し、河川浄化に努めています。作業はボランティアで毎月25名が当番で行っています。平均年令73才ですが、頑張る高齢者たちです。興味・関心のある方は是非参加してください。

EM（Effective Microorganisms）とは有用微生物群のこと。
有用微生物＝乳酸菌・光合成細菌・酵母菌・糸状菌など。この有用微生物群がさまざまな汚れや腐敗菌をきれいにする働きを持っています。



EM 活性液ペットボトル詰め



EM 発酵液作り



全長 100cm～140cm
高さ 36cm～75cm
総重量 7kg～15kg

わが町の上空にドローンが出現!!



昨年の11月から3月まで、平日昼間3～5回程度、安浦産業団地内（実成地区）で小型無人機ドローンが飛行し、インフラ点検や物資輸送などの実証実験をしました。

いつもの小路・さんぽ道が実はロマン街道?



—浦辺街道—

江戸時代、安浦を含む三原から呉にかけての海岸沿いの地域は浦郷・浦辺地方・浦辺筋などと呼ばれていました。これらの地域をつないで人の往来や物資の運搬に使われていたメインストリートが浦辺（部）街道です。

安浦町では女子畑から入り藤木・内海・中切・岡谷・奥条・市迫を通り中央ハイツ・三ヶ峠から、川尻に抜けていたようです。ただ、この街道の町内での記録はほとんど無く、現在はっきりしているのは安登地区の岡谷・奥条・市迫あたりの道だけです。しかもそれらの道は途中何度も途切れ、街道とは思えないほど細く、雑木林の中を通り、住宅の裏道となり、田んぼのあぜ道だったり、その面影はありません。

この忘れ去られた街道は、実は皆さんが何時も通っている何でもない小さな道かも知れません。そんなことを考えながら小道を歩くと、歴史とロマンをほんの少し、感じることもできるかもしれませんね。



おでかけ情報

3月	おしゃべりサロン	毎週（火・木）10：00～15：00	安登駅前駐輪場2階
	河津桜 34本	開花中	野呂川河口（実成新開）
4月	おしゃべりサロン	毎週（火・木）10：00～15：00	安登駅前駐輪場2階
	野路地区健康ウォーキング	4/8（土）9：00～13：00	女子畑（旧野路東小学校に集合）
	ストレッチング教室	4/11（火）10：00～11：30	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	4/14（金）10：00～12：30	安浦保健出張所（参加費400円）
	蔵まつり	4/16（日）10：00～15：00	盛川酒造

5月	おしゃべりサロン	毎週（火・木）10：00～15：00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	5/12（金）10：00～12：30	安浦保健出張所（参加費400円）
	ストレッチング教室	5/9（火）10：00～11：30	安浦保健出張所

6月	おしゃべりサロン	毎週（火・木）10：00～15：00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	6/9（金）10：00～12：30	安浦保健出張所（参加費400円）
	柏島大祭	6/10・11（土・日）8：00～21：00／9：00～14：00	
	ストレッチング教室	6/13（火）10：00～11：30	安浦保健出張所

まちづくり活動

まち協メンバーと子供たちの学習



安浦小学校3年生44名が、総合学習のため安浦歴史民俗資料館（南薫造記念館）を見学しました。子供たちは農機具・かまどなどの説明を聞き、昔の道具に興味を持ったようです。

洋画家南薫造画伯の話聞き、安浦小出身にこの様な偉大な先輩がいるのだと感動しました。

やすうら 記憶遺産

山本譲翁の残した 450 枚の風物画でたどる
安浦・暮らしの記憶

山本譲翁は自身の絵を「風物画」と呼びました。足で歩き、時に回想し、時には古い写真や資料を紐解き、出来上がった450枚の絵です。制作時期は昭和49年から62年の約13年間に集中します。安浦の景色を形にとどめ、後世へ残したいという思いから生まれた絵は今、多くの人に見直される時期にあります。



「安登村社ヨリ内海村社へ御神体御迎へノ儀（二）」
制作：1978（昭和53）年4月21日／往事の言い伝えなどを参考に制作したもの

野呂山を背に、大小の山々を抜けて神様を移動させている。時代は室町の頃。現在の安登から内海へ、八幡神を勧請する行列が中切あたりを通る光景です。近世のとばり、安浦の山々には土豪の城がそびえていました。そのひとつ、常広（つねひろ）城の土豪・内海（うつみ）衆の主が一族の領地内に八幡神をまつた故事を描いたものです。

八幡信仰は、武家社会の隆盛と共に全国に広まったというのが通説です。竹原小早川家勢力ひいては足利家味方として在郷からのし上がろうとする内海衆にとっても、武人の誇りを掲げる一族繁栄になくてはならない神だったことでしょう。

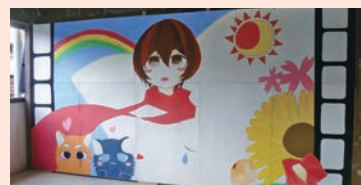
早春の水溜りに オタマジャクシ



寒さの厳しい一月中旬に、小さな春を見つけました。七浦海岸近くの水溜りでニホンアカガエルが卵を産んでいました。生まれたばかりのオタマジャクシも今は大きくなっています。卵塊が沢山あったので多くの個体数があるものと思われます。親ガエルは、少し暖くなるまで、落葉の布団で再び冬眠です。ニホンアカガエルは、レッド・データ・ブック（環境省及び広島県）で準絶滅危惧種に指定されています。空地に出来た水溜りも色んな生き物のビオトープ（生息空間）になっています。ちょっと覗いてみてください。

安登駅前に少女と鯨が来たー!!

昨年12月安浦中学の美術部員9名と顧問の中神先生が、学校帰りや休日を利用して、安登駅前駐輪場2階の壁・縦2.3 m×横9mに、女子部員は花に囲まれた少女、男子部員は空を飛ぶ鯨の絵を描きました。この絵の完成により、殺風景だった2階が華やかになり、サロン利用者に大変喜ばれています。まだ、見てない方はぜひ見に来て下さい。



花に囲まれた少女



空を飛ぶ鯨



中神先生と美術部 部員



写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景をご覧ください。

内海北1丁目から駅裏地区



昭和31年当時の写真 蒸気機関車が走り、駅裏は全て田圃であった。



高架が走り、区画整理で宅地化が進み、昔の田園風景は姿を消した。

三津口1丁目三津口谷川



昭和29年当時の写真 三津口谷川沿いの道路手押しポンプの共同井戸もあり、子供達は子守しながら遊んでいた。



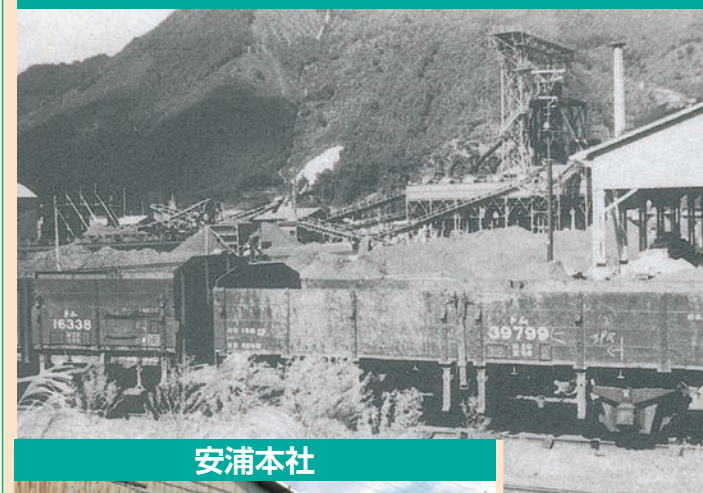
共同井戸も姿を消し、小学校も廃校となって人通りも少なくなったが、家並みと川は当時の姿を残している。



帝鉄運輸株式会社

呉市安浦町中央 5-12-35 ☎ 84-2116

昭和 32 年頃 帝国製鉄貨物引込線



安浦本社



安 浦 本 社 呉市安浦町中央5-12-35
TEL0823-84-2116

安芸津営業所 東広島市安芸津町木谷1218-22
TEL0846-45-3065

昭和32年、安浦駅前（約4,000坪）に帝国製鉄（株）安浦工場が開業しました。帝鉄運輸（株）はその協力会社として設立され、帝国製鉄（株）の野島福太郎社長が兼任しました。

高度成長時代、海陸の立地条件に恵まれた安浦工場の操業は鉄鋼・鋳物・機械部門などで地域経済の発展に大いに貢献しました。

帝鉄運輸の歩みを辿ると初代野島氏のあと、2代目林田健児氏、3代目永井輝（あきら）氏、4代目林田浩秋氏と継承されています。

当時は協力会社として日伸製鋼・日本耕土産業・巽精機・中国工業などがありその物流を担っていました。

現在、安芸津町木谷にある帝鉄運輸安芸津営業所には、輸送拠点として広大な物流倉庫と大型クレーン車が港に設置され、港湾荷役事業を行っています。主に竹

時代を乗り越え、頑張っている会社です。

安芸津営業所

